

「連綿と続く正月登山」

2022-1-3 の正月登山も沢山の参加者とともに無事終終わった。何時頃から、連綿と続くこの登山を始めたのか？登りながら記憶を辿ってみたが分かる筈もない。山岳会に入部したのが平成の初めだったので、入部後、暫くして始めた「高見山北尾根正月登山」も二十数年以上続いていることになる。

その当時、大台ヶ原から池木屋、明神平を辿り台高稜線を高見山、そこから東の三峰山、修験業山を経て局ガ岳に至る稜線を数年かけ何回もバトンタッチして足跡つなげるハイキングを楽しんでいた。今でいう〇〇トレールの元祖ハイキングだ。

丁度、そのころ高見山に北側から登る北尾根ルートがあることを知った。それがこの連綿と続く正月登山のルーツだろうと思う。その当時のメンバーも数名となったが、正月の三日に実施してきたこの登山に当事者として感慨深いものがある。

シンボリックな山容、正月の三日、そしてバリエーションルートを思わせるルートを取り途絶えることなく継続してきたことを思い、また今後も継続していくことを祈願して、連綿と続く正月登山の記録とします。

概要と集合写真を参照ください。

(文責：清岡)

1. 参加者：19 名
2. 歩行距離：7.2 キロ、行動時間：6H (休憩 2H)、累世標高：800m

以 上

